

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：桑の実鶴見保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：佐々木 留美子	定員（利用人数）： 60名（63名）
所在地：〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央1-28-2	
TEL：045-642-3737	
ホームページ： https://kuwanomikai.jp/	

【施設・事業所の概要】

開設年月日	2012年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）	社会福祉法人 桑の実会		
職員数	常勤職員： 15名	非常勤職員：	12名
専門職員	保育士 21名	管理栄養士	1名
	栄養士 1名	調理師	3名
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)	
	保育室5室、事務室1室、厨房1室、職員休憩室1室	○地上3階建ての建物（1階：事務所・給食室、2階：乳児クラス、3階：幼児クラス） ○屋上園庭有（砂場）手動の日よけがあります ○園内の移動はエレベーター、外階段、内階段を使用します	

桑の実鶴見保育園は、JR 京浜東北線鶴見駅および京浜急行京急鶴見駅より歩いて2分ほどの所にあります。園舎は隣の高齢者関係施設との合築になっており、保育園の園舎部分は3階建てで1階には事務所・給食室、2階は乳児クラス、3階は幼児クラスとなっています。屋上園庭には砂場が設置されています。屋上からは JR 線や京浜急行線がよく見え、子どもたちに人気です。駅に近い街中の保育園ですが、近隣には公園が複数あり、子どもたちの散歩コースとなっています。園は2012年（平成24年）4月に、社会福祉法人桑の実会によって開設されました。運営法人は、埼玉県所沢市に本部があり、埼玉、東京、神奈川で保育、介護、医療の分野で事業を展開しています。横浜市では当園を含めて3園の保育園を開設しています。定員は60名（0歳児～5歳児）、開園時間は、平日（月曜日～金曜日）7時～20時、土曜日7時～18時です。

③理念・基本方針

法人理念

「その子らしさとその人らしさを求めて」

保育方針

- ① 『つ』 つよい体と優しい心、自分の事は自分でしよう
- ② 『る』 ルールを守り、元気に挨拶
- ③ 『み』 みんな一緒、仲よし仲間

保育目標

- ① 気持ちの安定した子ども
- ② 積極的に他児と関わり、意欲的に遊ぶ子ども
- ③ 丈夫な身体をつくる
- ④ 考える力・豊かな心を育てる
- ⑤ 創造力・豊かな感性を育てる

④施設・事業所の特徴的な取組

一人ひとりの個性や主体性を大切にし、生活体験の機会を多く取り入れています。身体、五感を思いっきり使って生活体験を重ね、形成される時期に遊びや、運動、子ども同士の触れ合い等の体験を大切にしています。生活体験では、日常の戸外遊び、散歩を通して自然体験を行い、調理保育・英語リトミック・五感遊びの他、幼児クラスのプログラムに外部講師による、「キッズパワー」（運動指導）・「学研教室」・「ストリートダンス」「スイミング」等を設け、『その子らしさ』を引き出せる機会となっています。生活体験の中には特に、絵本の読み聞かせを0歳から行い、絵本に多く触れ、貸出図書コーナーも充実しています。季節ごとの行事や園外保育にも積極的に取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年4月27日(契約日)～2023年12月5日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	2回(2018年度)

⑥総評

◆特長や今後期待される点

【特長】

・子ども一人ひとりを大切にした保育を実践しています

保育士は、職員会議で「子どもの人権を大切にした保育」について話し合うとともに、年2回の園内研修でもチェックリストを用いて自己の保育の振り返りをし、子どもの人権を意識して保育にあたっています。保育士は、子ども一人ひとりの言葉に耳を傾け、子どもの思いや発見を丁寧に受け止め、子どもが自分の思いを言葉で表現し、自分らしさを発揮できるように支援しています。やりたくないという子どもの気持ちも受け止めて寄り添い、前向きな言葉掛けをすることで、自分から参加したくなるように働きかけています。乳児の朝の会では、読み聞かせの時に複数の絵本を見せたり、複数の歌を提案したりと、子どもが選択できるような場面を多く設定し、子どもが思いを表出できる機会を作っています。幼児になると、子どもの声を聞いて遊びのコーナーを設定したり、子ども同士で話し合って劇の内容を決めたりし、子どもが主体的に活動できるようにしています。このような働きかけの結果、子どもたちは自分の思いを素直に言葉や行動で表現し、のびのびと園生活を楽しんでいます。

・風通しのよい働きやすい職場づくりに取り組んでいます

園では、一昨年まで職員の交替が相次ぎ、園運営が必ずしも安定したものとは言えませんでした。そのため、それぞれの職員がライフワークバランスに沿った働き方をし、キャリアアップしていけるような職場環境づくりに力を入れています。法人作成の「職員ハンドブック」と「キャリアパスハンドブック」には、求める職員像や人事考課基準が記載されていて、職員が自分の将来像を描けるような仕組みができています。職員は年2回人事考課シートを用いて自己評価をし、園長面談で個別の課題を考え目標設定をしています。面談では、職員一人ひとりの家庭の状況や悩みなども聞き取り、相談に応じ、シフトに反映するなどしています。今年度から乳児・幼児リーダーを配置し、保育に入中で子どもや職員の動きを把握し、課題をすぐに解決できるようにしています。会議やミーティング、園内研修など職員間でコミュニケーションを多く取る中で、風通しのよい職場が作られていて、安定した職員集団ができてきています。園では、職員が定着したこともあり、今後は人材育成に力を入れ、保育の質の向上を図っていく予定です。

【今後に期待される点】

・中長期計画を策定して職員と方向性を共有していくことが期待されます

単年度の事業計画は毎年作成していますが、理念や基本方針の実現に向けたビジョンを明確にした中長期計画は策定されていません。中長期的な展望にたって運営を進めていくことにより、進むべき方向性がはっきりし運営の効果がより高まります。中長期的な計画を策定し、単年度の事業計画と関連付けていくことが期待されます。また、中長期計画を職員と共有することは、先行きの目標が定まり計画達成への意欲が高まり、運営の一員としての意識が生まれます。策定した計画を職員に周知し、方向性を共有していくことが期待されます。

⑥ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価結果の受審にあたり、お忙しい中アンケートにご協力くださいました保護者の皆様、市民セクターよこはまの調査員、スタッフの皆様に感謝を申し上げます。

開園 12 年目で 2 度目の受審でした。第三者評価受審経験がある職員が数名の中、全職員合同で月に数回勉強会を行いました。保育士だけではなく、調理師、栄養士、事務員で行うことで、多方面からの保育内容、保育環境について見直しを行うことができました。自らの仕事を見直すだけでなく、お互いの仕事内容も把握でき、共通理解を持つ事ができました。沢山意見交換する事で、保育観の共通認識ができ、チームワーク向上にも繋がったように感じます。職員で出した評価でBが多かったのは、今の状況に満足せずに、更なる保育の質の向上を目指しているからでしたが、実施調査で「一人ひとりを大切にしている保育」を見ていただき、お褒めの言葉をいただいた事で、職員達の励みとなりました。

保育園が子ども達にとって、「安心・安全」で過ごせる場として一人ひとりの心や体の成長を丁寧に見守る事。法人理念の「その子らしさと その人らしさを求めて」に基づき更なる保育の質の向上に努めて参ります。

保護者アンケートをお願いし、多くのご返答をいただきました。多くの温かいお言葉に感謝いたします。貴重なご意見は真摯に受け止め改善できる点は今後対応して参ります。今まで以上に保護者の皆様と、より良い関係を築いていきたいという思いと、子どもにとっての最善の利益をこれからも大切にし、園の取り組みを保護者の皆様、地域の皆様に、より一層ご理解いただけるよう努めて参ります。

社会福祉法人 桑の実会
桑の実鶴見保育園
園長 佐々木 留美子
職員一同

⑧ 第三者評価結果

別紙 2 のとおり